

医学生アドバンストコース 研修プログラム

【当院の特性・特徴】

当院は 24 時間体制で救急患者を受け入れ、地域社会より真に必要とされる良質の医療を提供し、最先端の医療も積極的に導入し、高度な医療も提供できる病院を目指している。

内科、外科疾患の診療や各種救急医療を主体に発足、発展し、地域の要望に応じて各種の高度の診断、治療施設、診療科の新設・増設を図り、総合病院として 2 次救急、3 次救急を実践する地域の中核的医療機関である。

特に内科系では循環器内科、腎臓内科、透析科、外科系では心臓血管外科、甲状腺外科、手の外科が充実しており、県内外から多くの症例が集まっている。

【当院での研修について】

以下の診療科において全人的医療の実践の中で研修を行う。

1. 循環器内科

【当院 HP】 <http://www.tsuchiya-hp.jp/index.htm>

【実習責任者】循環器内科部長 村岡 裕司

e-mail: yt-mura@td5.so-net.ne.jp

【連絡先】土谷総合病院 事務部 板東 恵利圭

e-mail: bandou@tsuchiya-hp.jp

所在地 広島市中区中島町 3 番 30 号

Tel:082-243-9191、Fax: 082-246-9893

循環器内科

【循環器内科研修の特性】

当院は、狭心症、心筋梗塞などを診断、治療する虚血性心疾患のグループと不整脈を治療する不整脈グループとで仕事を分担している。

虚血性心疾患としては、冠動脈造影、冠動脈インターベンションを主に施行している。

また、緊急症例も多く、急性心筋梗塞、急性心不全等に 24 時間体制で対応している。

不整脈グループは、心房細動、発作性上室性頻拍症、心室頻拍などのカテーテルアブレーション治療を主に施行しており、徐脈性不整脈へのペースメーカー植え込みや心室性不整脈への植え込み型除細動器などのデバイス治療も施行している。

また、検査部門として、心エコー室では、心機能評価、弁膜疾患の診断などとともに、頸動脈、腎動脈、下肢動静脈の末梢血管の超音波診断も施行している。

また、最近では心臓血管外科、麻酔科、放射線科、臨床工学士、看護師でハートチームを編成し、大動脈弁のカテーテル治療(TAVI)を県内最初に開始している。

当院循環器内科での研修にて、基本的な循環器医療必要な知識を習得できるとともに、最先端の循環器医療も学ぶことができると思われる。

【一般目標】

- 1) 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、職業的な技能、思考法、態度を、自らの実践の中で学ぶ。
- 2) 基本的診療手技とコミュニケーション技能を身につけ、患者およびその家族と良好な対人関係を築いて診療を進めることができるようになることを目指す。
- 3) 講義で学んだ知識を再確認し、また、講義では得られなかった、より実践的な知識を身につける。
- 4) 担当する患者の問題の理解に、基礎医学、臨床医学、社会医学の知識を応用でき、病因・病態の理解から診断・治療までの一連の流れを総合的に理解する科目横断的な知識の応用と、問題解決型の思考過程を身につけることを目指す。
- 5) 実際の医療に直接接するなかで、自分の将来の医師像を具体的に構築する。

医療法人あかね会 土谷総合病院

【到達目標（行動目標）】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を立案することができる。
- 5) 循環器内科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 循環器内科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

医療法人あかね会 土谷総合病院

【実習の内容】

- 1) 第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行う。
- 2) 第1週の月曜日に指導医を割り当てるので、以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、主治医団の1人として入院から退院までの医療に参加すること。具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぐこと。
- 3) 病歴聴取や診察で得た所見、また、その後行われた検査の結果や今後の治療方針など、主治医がカルテに記載すべき事柄については、すべて学生用の紙カルテに記載すること。これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが、主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで、すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。
- 4) 毎朝の回診の際には、患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に指導医に提示すること。また、月曜日と金曜日のカンファレンスでは既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ、事前に準備しておくこと。

【当科の週間スケジュール】

	行事、等	担当	場所	時間
月	循環器カンファレンス TAVI カンファレンス	村岡 沖本	9階カンファレンス室 8階カンファレンス室	17:30-18:00 18:00-18:30
火	心臓カテーテル検査		心臓カテーテル検査室	9:00-15:00
水	心エコーカンファ	沖本、山根	心臓カテーテル検査室	17:00-17:30
木	心臓カテーテル検査		心臓カテーテル検査室	8:30-10:30
金	抄読会 シネカンファレンス	為清 沖本	9階循環器カンファ	8:15-8:40 16:30-17:00

医療法人あかね会 土谷総合病院

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	30点
回診での患者提示のでき具合	10点
カンファレンスでのプレゼンテーション	10点
学生用カルテの内容	10点
ポートフォリオの内容	20点
部長試問	20点

【実習指導医】

村岡裕司、沖本智和、為清博道、三戸森児、永元康嗣、藤原舞、山根健一、三宅康子
植田裕介、森田裕一、藤井裕人

【参考図書、文献】

日本循環器学会 循環器病ガイドシリーズ

<http://www.j-circ.or.jp/guideline/>